

第22期第2回 佐賀県内水面漁場管理委員会 議事概要

1 日 時 令和7年2月7日(金) 14時～

2 場 所 佐賀市城内1丁目1番59号
佐賀県庁新館10階農林水産部内会議室(南西角)

3 出席者 佐賀県内水面漁場管理委員会

| | |
|-----|---------|
| 会 長 | 柴 山 雅 洋 |
| ” | 中 村 さやか |
| ” | 藤 村 美 穂 |
| ” | 森 田 忠 光 |
| ” | 江 頭 大 幸 |
| ” | 草 野 剛 |
| ” | 今 川 一 洋 |

4 臨 席 者 海区漁業調整委員会事務局

事 務 局 長 荒 巻 裕

佐賀県農林水産部水産課漁業調整担当

主 事 江 頭 千 優

5 議題及び議決事項

- (1) 第5種共同漁業権に係る令和7年度増殖目標量(案)について(協議)
⇒原案どおり承認された。
- (2) 第5種共同漁業権に係る「資源管理の状況等の報告」について(報告)
⇒事務局から報告が行われた。
- (3) 令和7年度えつ流し刺網による採捕許可方針(案)について(諮問)
⇒原案どおり承認された。
- (4) えつ資源回復方策に関する取組状況について(報告)
⇒事務局から報告が行われた。
- (5) その他

⇒事務局から電子遊漁券や次回の委員会について説明が行われた。

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題1・2・3 江頭主事

議題4 荒巻局長

(2) 質疑応答

【議題(1)について】

(委員) 古湯漁協がオイカワ・カワムツの入手先は未定と書かれているが、放流が計画されている。入手先を見つけなければいけないのではないか。

(事務局)

入手先を探すか自己採捕するという形で他の漁協は取り組んでいるので、事務局は先日他の漁協が入手している業者の名前を伝えて、そこから入手するようにメールを送付した。

【議題(2)について】

質疑なし

【議題(3)について】

(委員) あと10日か2週間ほど漁期時を早くしてほしい。大雨が降ると獲れなくなる。

(事務局) 福岡県の漁業者からもそのような意見があるので、今後、福岡・佐賀両県の水産試験場で漁期を早められるか現状把握の調査をして検討する。

(委員) 令和3年にコロナの影響で操業者数が減って、獲らなかった時期があった。その後に近年、えつの量が増えた。獲らなかった時期が休漁期みたいになって、資源が回復したと考えられる。資源保護のために、休漁期を設定することの効果はあるのではないか。

(事務局) えつの研究をしていた職員も同じような感覚を持っている。

【議題(4)について】

(委員) コロナの時のあんこう網の操業実績はあったのか。

(事務局) あんこう網は通常どおり操業していた。それを考えるとあんこう網以外からエツの資源が影響を受けているかもしれない。